

令和 6年度

事務事業評価表 ( 令和 5年度 の実績評価)

記入年月日  
令和 6 年 4 月 12 日

事務事業名		国民健康保険資格給付適正化事務				事業区分		担当	
						新規/継続	継続	事務事業No.	010701000387
						単独/補助	単独		
政策体系		政策体系上の位置付け						所属課	030201
総合計画の施策名		0107 社会保障制度の健全運営							国保年金課
政策名		01 子どもから高齢者まで健康で共生のまちづくり						課長名	
施策名		07 社会保障制度の健全運営						グループ	国保年金G
手段名		01 ①医療保険制度の充実						担当者名	
		財務会計上の位置付け				事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	国民健康保険特別会計		
	02	01	01	01	02	00	単年度繰返し ( 昭和33 年度~ )		
							一般管理事業		
法令根拠	国民健康保険法第6条、第45条						期間限定の場合、総投入量を ( 3 ) 投入量の右側に記入		

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要 (事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
<ul style="list-style-type: none"> <li>国民健康保険法等に基づく資格の適用管理を行うこと、及び医療機関から出されたレセプトを点検を通しての医療費の審査をすることで健全な国保運営を行うことを目的としている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>退職被保険者該当者の資格の認定及び給付費の振替</li> <li>未適用者の把握を行い、国保未加入者に対して、早期加入を勧奨する。</li> <li>医療機関からのレセプト請求について、保険医療行為の内容から請求内容が適正に行われているかを点検し、疑義があるような場合にはその医療機関に過誤請求あるいは被保険者に返還請求を行う。</li> </ul>

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移							
①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	04年度 (実績)	05年度 (実績)	06年度 (計画)	07年度 (目標)	08年度 (目標)
<ul style="list-style-type: none"> <li>退職被保険者該当者の振替</li> <li>未適用者の把握を行い、早期加入を勧奨する。</li> <li>医療機関からのレセプト請求について、適正に行われているかを点検し、疑義には返還請求を行う。</li> </ul>	国民健康保険資格取得人数 (年報) ※2月末時点	人	1,550.00	1,335.00	1,200.00	1,100.00	1,000.00
	国民健康保険資格喪失人数 (年報) ※2月末時点	人	2,012.00	1,636.00	1,500.00	1,300.00	1,100.00
	レセプト二次点検件数	件	163,763.00	159,542.00	155,000.00	151,000.00	147,000.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	04年度 (実績)	05年度 (実績)	06年度 (計画)	07年度 (目標)	08年度 (目標)
国民健康保険被保険者	国民健康保険被保険者数 (年度末現在月報)	人	9,819.00	9,330.00	8,800.00	8,300.00	7,800.00
	※2月末時点		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	04年度 (実績)	05年度 (実績)	06年度 (計画)	07年度 (目標)	08年度 (目標)
<ul style="list-style-type: none"> <li>退職資格の適用、振替による医療費の抑制</li> <li>レセプト資格内容チェックによる医療費の抑制</li> </ul>	退職振替件数 (療給費負担金実績報告資料)	件	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	レセプト返戻件数	件	765.00	613.00	540.00	530.00	520.00
	不当利得返還請求件数	件	62.00	87.00	80.00	80.00	80.00

(3) 投入量 (事業費) の推移		04年度 (実績)	05年度 (実績)	06年度 (計画)	07年度 (目標)	08年度 (目標)	期間限定総投入量
投入量	事業費内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	
		県支出金	千円	0	0	0	
		地方債	千円	0	0	0	
		使用料・手数料	千円	0	0	0	
		その他	千円	0	0	0	
		一般財源	千円	0	0	0	
		事業費計 (A)	千円	0	0	0	
	正規職員従事人数	人	5.00人	11.00人	11.00人		

事業費の内訳	05年度事業費 実績 (千円)			06年度事業費 予算 (千円)		
		合計	0		合計	0

(4) 当該年度の実施内容	06年度の事業内容	07年度の事業内容	08年度の事業内容
※年度ごとに事業内容を記入する	<ul style="list-style-type: none"> <li>退職被保険者該当者の振替や未適用者の把握を行い、早期加入/喪失を勧奨する。</li> <li>医療機関からのレセプト請求について、適正に行われているかを点検し、疑義には返還請求を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>医療機関からのレセプト請求について、適正に行われているかを点検し、疑義には返還請求を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>医療機関からのレセプト請求について、適正に行われているかを点検し、疑義には返還請求を行う。</li> </ul>

事務事業名	国民健康保険資格給付適正化事務	事務事業No.	10701000387	所属課	国保年金課
(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
国民健康保険制度が昭和33年度から開始された。その後の社会構造の変化に対応した新たな制度の創設により複雑多義になり現在に至っている。					
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
特になし					

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評価項目	
現状維持	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 国の法定受託事業であることから結びついている。
有効性	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 国の法定受託事業であることから妥当である。
効率性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない 国の法定受託事業であるため向上の余地はない。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 国の法定受託事業であることから影響がでる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名)
	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 他に手段がない。
	⑥事業費・人件費の削除余地 (成果を下げずに事業費を削除できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 国の法定受託事業であるため削減の余地はない。
	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 国の法定受託事業であるから公正公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																	
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	社会構造の変化等により国民健康保険制度の改正が多く、運用が難しい。																	
(3) 今後の事業の方向性	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																	
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止	(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																	
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上維持</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上維持		○	×	低下	×	×	×
				コスト														
		削減	維持	増加														
成果	向上維持		○	×														
	低下	×	×	×														
(6) 事務事業優先度評価結果	成果優先度評価結果 ②																	

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> A A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>